柿園管理情報　第２号

令和３年４月 26 日
砺波農林振興センター
城 端 果 樹 協 会

防除について

柿の生育は前年より、５日程度早まっています。展葉期はマイマイガやカキクダザミウマの防除適期です。

以下の計画を参考に防除を行ってください。

散布時期	対象病害虫	散 布 薬 剤	使用倍率	100ﾘｯﾄﾙ当たり薬量
５月５日頃 (展葉期)	ハマキムシ類 ｶｷｸﾀﾞｱｻﾞﾐｳﾏ	**アタブロンＳＣ**	４，０００	２５ｍｌ
５月20日頃 (開花直前)	**落葉病** 炭そ病	**トレノックスフロアブル**	５００	２００ml

※アザミウマ類多発園ではアタブロンＳＣに替え、**アクタラ顆粒水溶剤２，０００倍**を散布する。

※１０ａ当たりの散布量の目安は３５０リットルです。

※農薬散布時は、周囲の他の作物に薬剤が掛からないよう、十分注意してください。

※畦畔柿では､アタブロン SC､トレノックスフロアブルが使用できないので、トップジンM水和剤 1,000 倍を使用してください。

平核無・刀根早生の摘蕾について

２Ｌ以上の果実にするために、**平核無・刀根早生は摘蕾**を行いましょう。

開花が始まると軸が硬くなり作業がしにくくなるので、**早めに摘蕾を行ってください**。

・時期は開花前まで。

・１新梢に中ほどの大きくて形の良い１蕾を残す。

問い合わせ先：砺波農林振興センター　園芸振興班　谷口　℡32-8112